

中南米地域戦略を考える

2016年10月14日

ジェトロ・サンパウロ

大久保 敦

1. 中南米地域戦略を考えるー冷静な目で中南米市場を再評価する

中南米でビジネスをする10の理由

1 経済規模 (GDP)

ASEAN+インド凌駕、1人当たりで3.5倍

2 海外日系人数

世界最大の日系人在住数。推定在住数(2014年)：約325万人の約6割が在住。
⇒日本の文化、食、製品・技術・ブランドの普及と信頼向上に貢献、ビジネス人材

3 消費市場

ASEAN+インド凌駕
家計最終消費支出(2015年) ブラジル8位、メキシコ12位、アルゼンチン21位⇒インド9位、インドネシア17位

4 資源エネルギー

可採埋蔵量：シェールガス(アルゼンチン2位、メキシコ6位、ブラジル10位、中南米シェア26.1%)
石油(ベネズエラ1位、ブラジル15位、メキシコ17位、エクアドル19位、中南米シェア20.3%)
リチウム(チリ1位、アルゼンチン3位、ブラジル7位、計シェア68.2%)
銅(チリ1位、ペルー3位、メキシコ4位、計シェア45.0%)

5 食糧供給

穀物(大豆、小麦)、食肉、広大な耕作可能地、南半球ならではの端境期供給、病害虫影響小

6 グローバル生産拠点の一角

自動車生産台数(メキシコ：世界7位うち日系6位、ブラジル9位うち日系10位)

7 インフラ

2014-20予測でインフラ需要と同投資不足額とも南アジアに次ぐ規模。中国より大規模。

「通商白書2016」138P

8 域内コミュニケーション

主要国はブラジル(ポルトガル語)以外すべてスペイン語。両言語で意思疎通可。長い経済統合史

9 和平の進展

2015年GPI(世界平和度指数)が中南米で最も改善。途上国・新興国ではASEANに次いで良い。2015年GTIスコアでは中南米で最も高いコロンビア(6.662)でもインド(7.747)やタイ(7.279)より低い。

10 投資ビジネス環境

ASEAN+インド同等の投資環境(同適格国数、Doing bussiness平均スコアとも同レベル)
ただし、太平洋同盟諸国で高評価

中南米を敬遠する4つの理由

1

遠い

2

特殊言語

3

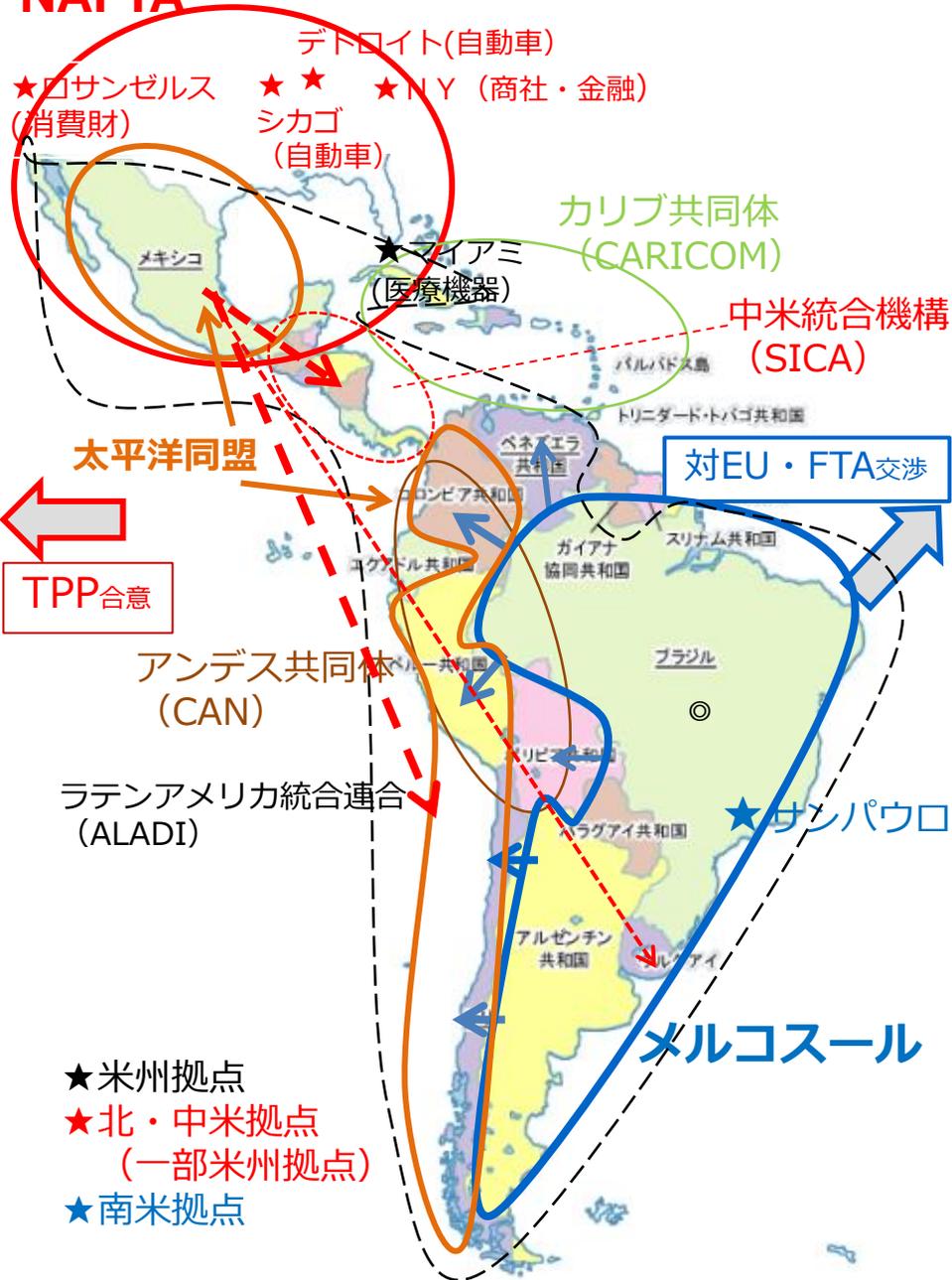
欧米潜在市場

4

治安

1. 中南米地域戦略を考える-中南米地域統合の現状 1

NAFTA



日米との経済協定締結状況

	FTA/EPA	BITs	DTAs二重課税防止条約	SSA社会保障協定
日本	メキシコ、コロンビア (交渉中)、ペルー、チリ、	コロンビア、ペルー、ウルグアイ (未発効)、アルゼンチン (新型：交渉へ)	メキシコ、ブラジル、ケイマン諸島、バミューダ	ブラジル
米国	メキシコ (NAFTA)、中米5カ国、パナマ、コロンビア、ペルー、チリ、	アルゼンチン、ボリビア、エクアドル、グレナダ、ホンジュラス、ジャマイカ、パナマ、ウルグアイ	メキシコ、チリ (未発効)、ベネズエラ	チリ

メキシコ：域内 F T A

協定	締結相手国	発効
コロンビアFTA	コロンビア	1995
チリFTA	チリ	1999
ウルグアイFTA	ウルグアイ	2004
ペルーFTA	ペルー	2012
中米FTA	エルサルバドル・ニカラグア	2012
	グアテマラ・ホンジュラス・コスタリカ	2013
パナマFTA	パナマ	2015

メルコスール：域内 F T A 等

協定	締結相手国	発効
ACE-35 (F T A)	チリ	1996
ACE-36 (F T A)	ボリビア	1997
ACE-54	メキシコ	2003
ACE-55 (自動車*)	メキシコ	2003
ACE-58 (F T A)	ペルー	2006
ACE-59 (F T A)	アンデス共同体 (CAN)	2005
ACE-69 (F T A***)	ベネズエラ	2014

太平洋同盟 (2015年枠組協定発効)
メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ
オブザーバー：中米5カ国、カリブ3カ国、南米 (エクアドル、パラグアイ、ウルグアイ、アルゼンチン)

(注) 経済補完協定 (ACE) ACE、AAPは2年、3年などの期限付きであり、満期ごとに更新するか否かを両国で決定。

*①原産地基準を満たす自動車・同関連製品に関して相互に輸入税削減。②域内調達率の順次引き上げ、③完成車無税輸入枠設定、④完全自由化は2019年3月19日以降
**ペルー除く。ベネズエラは2006年脱退
***①メルコスール規則履行できない恐れ、②伯、亜、ウルグアイとは両国原産品は原則無税 (例外品目あり。自動車関連、亜との砂糖関連品目は個別協定締結を目指す現状ACE-59準拠)、③パラグアイ原産品は一部無税。

1. 中南米地域戦略を考える-中南米主要国の貿易協定締結状況

ラテンアメリカ統合連合（ALADI）枠組み

FTA（自由貿易協定） FTA未達貿易協定 ★特惠貿易協定 ◎自動車協定 （注①）ALADI枠組み以外の自由貿易協定（包括FTA）はFTAと表記。
 (M)はACE 1 8はメルコスール加盟4カ国経済補完協定 （注②）パナマのALADI正式加盟は2012年5月
 (M+)その他はメルコスールと第3国との経済補完協定

	アルゼンチン	ボリビア	ブラジル	チリ	コロンビア	キューバ	エクアドル	メキシコ	パナマ	パラグアイ	ペルー	ウルグアイ	ベネズエラ
アルゼンチン		ACE36 (M+)	◎ACE14 ACE18 (M)	ACE35 (M+)	ACE59 (M+)	★ACE62 (M+)	ACE59 (M+)	★ACE06 ACE54 (M+) ◎ACE55 (M+)		ACE13 ACE18 (M)	ACE58 (M+)	ACE18 (M) ◎ACE57	ACE59 (M+) ACE68
ボリビア	ACE36 (M+)		ACE36 (M+)	★ACE22		★ACE47 ACE70		ACE66		ACE36 (M+)		ACE36 (M+)	ACE70
ブラジル	ACE14 ACE18 (M)	ACE36 (M+)		ACE35 (M+)	ACE59 (M+)	★ACE62 (M+)	ACE59 (M+)	★ACE53 ACE54 (M+) ◎ACE55 (M+)		ACE18 (M)	ACE58 (M+)	◎ACE02 ACE18 (M)	ACE59 (M+) ACE69
チリ	ACE35 (M+)	★ACE22	ACE35 (M+)		ACE24	★ACE42	ACE65	ACE41	FTA	ACE35 (M+)	ACE38 FTA	ACE35 (M+)	ACE23
コロンビア	ACE59 (M+)		ACE59 (M+)	ACE24		★ACE49		ACE33		ACE59 (M+)		ACE59 (M+)	
キューバ	★ACE62 (M+)	★ACE47 ACE70	★ACE62 (M+)	★ACE42	★ACE49		★ACE46	★ACE51	ACE71	★ACE62 (M+)	★ACE50	★ACE62 (M+)	★ACE40 ACE70
エクアドル	ACE59 (M+)		ACE59 (M+)	ACE65		★ACE46				ACE59 (M+)		ACE59 (M+)	
メキシコ	ACE06 ACE54 (M+) ◎ACE55 (M+)	ACE66	ACE53 ACE54 (M+) ◎ACE55 (M+)	ACE41	ACE33	★ACE51			FTA	ACE54 (M+) ◎ACE55 (M+)	ACE67	ACE54 (M+) ◎ACE55 (M+) ACE60	
パナマ				FTA		ACE71							
パラグアイ	ACE13 ACE18 (M)	ACE36 (M+)	ACE18 (M)	ACE35 (M+)	ACE59 (M+)	★ACE62 (M+)	ACE59 (M+)	ACE54 (M+) ◎ACE55 (M+)			ACE58 (M+)	ACE18 (M)	ACE59 (M+) ★ACE64
ペルー	ACE58 (M+)		ACE58 (M+)	ACE38 FTA		★ACE50		ACE67	FTA	ACE58 (M+)		ACE58 (M+)	
ウルグアイ	ACE18 (M) ◎ACE57	ACE36 (M+)	◎ACE02 ACE18 (M)	ACE35 (M)	ACE59 (M+)	★ACE62 (M+)	ACE59 (M+)	ACE54 (M+) ◎ACE55 (M+) ACE60		ACE18 (M)	ACE58 (M+)		ACE59 (M+) ★ACE63
ベネズエラ	ACE59 (M+) ACE68	ACE70	ACE59 (M+) ACE69	ACE23		★ACE40 ACE70				ACE59 (M+) ★ACE64		ACE59 (M+) ★ACE63	

(出所) ラテンアメリカ統合連合（ALADI）資料を基礎に作成。

1. 中南米地域戦略を考える-現状認識まとめ&事業戦略の方向性

中南米地域統合（4つのトレンド）

○NAFTAとメルコスール双方競ってFTA締結により中南米域内で潜在市場を拡大。
○TPPに対しメルコスールは対EU・FTA交渉加速。
伯大統領を含め加盟国個別FTA締結を容認発言。
○域内各国はNAFTAとメルコスール双方の広域市場、アジア・欧米との関係を踏まえゲートウエー・ビジネス展開を模索。
○中南米域内は言語等社会文化的類似性を有し、ラテンアメリカ統合連合（ALADI）枠組みによる経済文化協力・統合が進展。域内各国間で経験・ノウハウを共有化が比較的容易。

進出日系企業（2つの広域拠点）

○NAFTA域内は米主要都市に北中米広域拠点。世界各国とFTA締結を推進するメキシコに製造拠点が急速に集積。NAFTAの一大工業地帯に。
○メルコスールはブラジル（サンパウロ州内等）に南米拠点が集積。ブラジルクストを理由に一部製造拠点がパラグアイに集積。
○航空アクセスの良いマイアミは医療機器等の中南米広域拠点、ウルグアイとパナマはFTZを活用した輸入機器・製品の中南米供給拠点、鉱業大国チリは周辺国を管轄する鉱業現地法人が集積。

3つの中南米市場アプローチ

1. 2つの広域市場アクセス

○ブラジル拠点は国内のみならず主に南米地域（メルコスールおよび同潜在市場）への販路開拓が喫緊の課題。さらにコスト削減や市場確保を目的とした事業展開・拠点設置を志向。

○NAFTAメキシコ製造拠点は域内向け生産体制確立が喫緊の課題。次に他の中南米市場への輸出を志向。

⇒サンパウロ事務所（andメキシコ事務所）主導による域内広域的な販路開拓・事業展開を支援

2. 域内横展開

共通言語や統合枠組みを利用して域内にモデル事業・プロジェクトを立ち上げ、中南米域内各国に横展開。

⇒域内モデル事業立ち上げ支援+横展開支援

3. 広域プラットフォーム・ビジネス

太平洋同盟諸国その他中・小規模国の進出拠点は自国市場のみならず、同国の比較優位性（産業・市場特性、事業コスト）を踏まえ域内広域市場（and/or域外）向けプラットフォーム・ビジネスを志向。

（例）パラグアイ（自動車部品製造拠点化）、チリ（鉱業エンジニアリング）、ウルグアイ（製品在庫倉庫）

⇒所在ジェトロ事務所主導によるプラットフォームビジネス広域化支援